

作成日: 2008年1月18日

改訂日(V.2): 2016年6月2日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: ニチノール

会社名: 株式会社ニチノ一緑化

住所: 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14番4号

担当部門: 管理部

TEL. 03-3808-2281

FAX. 03-3808-2360

緊急連絡電話番号: 03-3808-2281

推奨用途及び使用上の制限: 食品添加物・皮膜剤(萎凋防止・黒かび防止剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
	自然発火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 蒸気)	区分外
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2 B
	生殖細胞変異原性	区分1 B
	生殖毒性	区分1 A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3 (気道刺激性、 麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 (肝臓) 区分2 (中枢神経系)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
引火性の高い液体及び蒸気  
眼刺激  
遺伝性疾患のおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓)の障害  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系)の障害  
のおそれ

## 注意書き

## 【安全対策】

- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地すること/アースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

## 【応急措置】

- 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断を受けること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断を受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
- 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

## 【保管】

- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性： 特になし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

- 1) ポリ酢酸ビニル樹脂
- 2) エタノール

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ポリ酢酸ビニル樹脂	47.10%	9003-20-7	既存物質	(6)-295
エタノール	49.00%	64-17-5	既存物質	(2)-202
		安衛法表示・通知対象物		
水	3.90%	—	—	—

## 4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を直ちに新鮮な空気のところへ移し、安静に保つ。異常がある場合は、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱ぎ、付着部の皮膚を多量の水と石けんでよく洗浄する。異常がある場合は、医師の診断を受ける。

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。異常がある場合は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水を飲ませる。意識の無い時には口から何も与えてはならない。医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火時の注意：消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。高温により発生するガス、煙、ミストを吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤：霧状水、粉末、泡沫、炭酸ガス  
使ってはならない消火剤：情報無し。

## 6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを取り除く。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、ミストやガスを吸い込んだりしないようにする。漏出物を土、砂等に吸収させ密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、ガスやミストを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしれないように風上より作業する。着火源となるものの付近では取扱いをしてはならない。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管：容器を密閉し、直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない危険物倉庫に施錠して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：局所排気装置を設置する。取扱い作業場の近くに洗顔、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人用保護具：状況に応じた適切な保護具を着用する。  
保護マスク、保護眼鏡(ゴーグル)、保護面、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋等。  
作業時に着用していた衣類等は、他のものと分けて洗濯する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観：淡白色澄明水溶性液状(ガラス容器入り)  
臭い：データ無し。  
比重：データ無し。  
pH：データ無し。  
引火点：17°C (タグ密閉式)

自然発火性： 常温で空気と接触しても自然発火しない。

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の実験条件下では安定。

危険な反応： 知られていない。

危険有害な分解生成物： 知られていない。

## 11. 有害性情報

急性経口毒性： 1%以上含有され、分類できる成分は全て区分外であることから区分外とした。毒性未知成分量は47.10%。

急性経皮毒性： 1%以上含有され、分類できる成分は全て区分外であることから区分外とした。毒性未知成分量は47.10%。

急性吸入毒性(蒸気)：1%以上含有され、分類できる成分は全て区分外であることから区分外とした。毒性未知成分量は47.10%。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：  
製剤のデータ無し。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：  
区分2Bに分類されるエタノールを区分2Bの濃度限界(10%)以上含有するので、区分2Bとした。毒性未知成分量は47.10%。

皮膚感作性： 製剤のデータ無し。

生殖細胞変異原性：  
区分1Bに分類されるエタノールを区分1Bの濃度限界(0.1%)以上含有するので、区分1Bとした。毒性未知成分量は47.10%。

生殖毒性： 区分1Aに分類されるエタノールを区分1Aの濃度限界(0.3%)以上含有するので、区分1Aとした。毒性未知成分量は47.10%。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：  
区分3(気道刺激性、麻酔作用)に分類されるエタノールを区分3の濃度限界(20%)以上含有するので、区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。毒性未知成分量は47.10%。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：  
区分1(肝臓)及び区分2(中枢神経系)に分類されるエタノールをそれぞれの区分の濃度限界(10%)以上含有するので、区分1(肝臓)及び区分2(中枢神経系)とした。毒性未知成分量は47.10%。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)：  
データ不足で分類できない。

水生環境有害性(長期間)：  
データ不足で分類できない。

生態毒性： 製剤のデータ無し。

残留性・分解性： 製剤のデータ無し。

生体蓄積性： 製剤のデータ無し。

土壌中への移動性： 製剤のデータ無し。

オゾン層への有害性： 製剤のデータ無し。

## 13. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。  
空容器：内容物を使い終わった後、3回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

#### 14. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号： 1170  
品名（国連輸送名）： ETHANOL SOLUTION (ETHYL ALCOHOL SOLUTION)  
国連分類： 3  
容器等級： II  
海洋汚染物質： 非該当  
緊急時応急措置指針番号： 127

#### 15. 適用法令

消防法：危険物（引火性液体/第四類第一石油類、水溶性液体、危険等級II）

毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。

食品衛生法

食品添加物：指定添加物（No. 155 酢酸ビニル樹脂）  
一般飲食物添加物（エタノール）

労働安全衛生法

表示対象物（法57条、施行令第18条）：エタノール（政令番号61）

通知対象物（法57条の2、施行令第18条の2）：エタノール（政令番号61）

危険物：引火性の物（政令番号4）

化学物質排出把握管理促進法（化管法）

指定化学物質：該当せず。

#### 16. その他の情報

参考文献

- 1) JIS Z 7252：2014、GHSに基づく化学物質等の分類方法
- 2) JIS Z 7253：2012、GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。